

科目名	指揮法 I	授業期間	春学期
担当教員	加納明洋	科目 No.	GEN2180, MCO2180 MME2180
受講対象	指揮を除く全専攻 2・3年	単位数	2単位

目標 概要	<p>目標：指揮の基本的なテクニックを理解した上で、作品の様々な音楽的要求に応じて使い分けられる技術を実践的に身につける。</p> <p>概要：集団での実技指導が中心であり、上記に掲げた「指揮の技術を実践的に身につける」ために、受講生を前にして、実際に指揮する場を多く設ける。</p>
----------	--

授 業 計 画	1	当授業の目的、担当者の考え方を学生に説明後、基本運動の打法、しゃくい、平均運動等を体験する。その後、以下の主題について作文を書いてもらう。 1. なぜ当授業を選択したのか。 2. 将来指揮をする機会が必ずやってくると思うが、それはどういう場所だと思うか。 3. そのときに心掛けるべき事とは何か。
	2	具体的な指揮テクニックの基本練習（打法、しゃくい、平均運動、4拍子の図形、予備運動）を簡単な楽曲を用いて実践的に行う。（合唱曲：合唱用コンコーネ第1番。 ピアノ曲：ブルグミュラー「バラード」）
	3	指揮の基本テクニック（打法、しゃくい、平均運動）の反復練習。 4拍子の楽曲を実践的に指揮する。（合唱曲：合唱用コンコーネ第1番。 ピアノ曲：ブルグミュラー「貴婦人の乗馬」）
	4	今までの楽曲に加え、2拍子、3拍子、6拍子の楽曲に挑戦する。 （ブルグミュラー「アラバスク」、ジムノパディ第1番、浜辺の歌）
	5	今までの復習。さらにアウフタクト、フェルマータの実践的練習。 （バッハ「受難のコラール」、ルター「コラール」）
	6	予備運動の大切さを認識させるとともに、ディナーミク、フレージング、アゴーギク等の音楽的な解釈にも踏み込む。 （前述のコラール。 Mozart : Ave Verum Corpus）
	7	オーケストラ・スコアの読み方、特に移調楽器の読み方。Mozart の年譜をもとに、彼の生涯を知ろう！ （ドヴォルザーク「新世界交響曲第2楽章」冒頭部分。 Mozart : Eine Kleine Nachtmusik）
	8	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章提示部
	9	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章提示部 ステイーヴ・ライヒ 「クラッピング・ミュージック」(手拍子の音楽)
	10	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章展開部 第3楽章 「メヌエット」(3拍子の音楽の指揮) Ave Verum Corpus (合唱指揮) 説明
	11	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章展開部 第3楽章 「メヌエット」(3拍子の音楽の指揮) Ave Verum Corpus (合唱指揮) 実践
	12	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章再現部 第2楽章 「ロマンス」 前半(4拍子のアウフタクトの指揮) Ave Verum Corpus (合唱指揮)
	13	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章コーダ 第4楽章 「ロンド」 冒頭(2拍子のアウフタクトの指揮) Ave Verum Corpus (合唱指揮)
	14	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章 及び 総復習
	15	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章 総まとめ

準備学習の内容	配付された楽譜を、各自でピアノ曲であればピアノで弾いてくる。合唱曲であれば歌ってくる。
---------	---

履修上の注意	音楽を楽しみ、極めようとする <u>積極性と自立心</u> を持ち、それを保てる学生のみ履修を認める。
--------	---

評価方法	試験	課題(レポート含)	発表	平常点	その他	合計
	60%			30%	10%	100%
	補足	<p>実技試験及び出席点を柱とし、授業への積極性や貢献度も反映させる。 実技試験は2台のピアノで行い、学科試験期間中に実施。 課題曲 Mozart : Eine Kleine Nachtmusik 第1楽章</p>				

教材等	Mozart : Eine Kleine Nachtmusik のスコアを各自用意。他の楽譜は、担当者が適宜に配付する。 指揮棒は第1回の講義の後に用意。
-----	--